

科目名	子育て支援		担当教員	真鍋 顕久	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	
期待される学修成果	子ども理解 態度				
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	相談援助職				
実務経験を生かした授業内容	相談援助業務の経験を生かし、ソーシャルワークについて講義する。				
到達目標及びテーマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者が行う子育て支援の理論や方法について学ぶ。 2. 子育て支援の意義を理解し、多角的な視野が必要であることを理解する。 3. 保育者が行う保育の専門性を背景とした子育て支援の方法や技術（相談、助言、情報提供、行動見本の提示等）について、その特性と展開を具体的に理解する。 4. 子育て支援における専門機関・保育者等の協働のあり方について理解する。 				
授業の概要	子育て支援における保育者の役割と職務内容を把握する。保育者が行う保育の専門性を背景とした子どもの育ちにつながる子育て支援のあり方について、様々な場や多様な子育て家庭に即した支援の内容と方法及び技術さらにはその展開に関して事例検討を中心としたグループ学習により、理論知を実践知に関連づけながら具体的に理解する。さまざまな社会資源と連携した支援方法の基礎を習得する。				

授業計画	
第1回	子育て支援とは
第2回	相談援助と自己覚知
第3回	保育者としての価値
第4回	子育て支援を行うために（他者理解）
第5回	子育て支援の基本的姿勢
第6回	子育て支援の基本的技術
第7回	地域の社会資源との連携
第8回	支援の実践過程 1（インテークとアセスメント）
第9回	支援の実践過程 2（支援計画）
第10回	支援の実践過程 3（実施・評価）
第11回	文章を活用した子育て支援
第12回	行事などを活用した子育て支援
第13回	環境を活用した子育て支援
第14回	入所施設における子育て支援
第15回	まとめと今後の課題

事前学修		事前配布された資料やテキストの指定されたところを読む。
事後学修		教授された内容を整理しておく。
フィードバックの方法		Eメール等で質問を受け付け、回答し、個別指導を行う。

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	60%	授業内容に関するレポート課題を出す
上記以外の試験・平常点評価	40%	授業への積極的な参加姿勢
定期試験	0%	実施しない

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	授業において適宜資料を配布する			